

## 「朝の活動」－みんなで朝の会をしよう－

### 京都市立 小学部

対 象： 小学部 1～6年 男子名，女子名， 計6名

授 業 者：

授業期間： 通年

本 時：

授業場所：

### ユニット参加児童生徒の障害

知的障害 (0名)

知的障害・肢体不自由重複障害 (6名)

その他 (視覚障害 2名 上記に含む)

### 1. ユニットについて

#### (1) ユニットで取り扱う児童生徒の短期目標

A	ア. イ. 視線・表情・体の動きなどで人からの関わりに応えたり，自分の気持ちを伝えたりすることが増える
B	ア. イ. 好きな活動のときに，楽しさやうれしい気持ちを視線・表情・体の動きなどで表すことが増える
C	ア. イ. 名前を呼ばれたり話しかけられた時に，声を出したり口を動かして応える

#### (2) 短期目標に対する児童生徒の姿

#### (3) ユニットの設定について

.....

体調に応じて学年活動やユニット活動などの様々な集団活動に参加していくためにも，友達と一緒に活動を多く経験し，様々な音や活動に慣れていく必要があると考え，本活動を設定した。

また，朝の会において役割活動を取り入れた。役割を担う児童は，自分から紐を引っ張ったりスイッチを押したりすることで，その結果として音楽が鳴ったり，指導者や友達が反応したりすることを感じることができる。その活動を繰り返し行っていくことで，自分から主体的に物に関わる意欲を高めることができると考える。

朝の会の最後には「みんなであそぼう」の活動を取り入れた。朝の会の最後に，児童の好きな活動を取り入れることで，朝の会が楽しいというイメージを持ち，朝の会への参加の意欲を高めることができる。また，児童が慣れた安心して過ごすことができる教室での活動であるため，他の教室では緊張して過ごしている児童においても，楽しいときや嬉しいときにそれを体や声・表情で表現しやすいのではないかと考える。

本時におこなう「はらぺこあおむし」のお話遊びでは，ビニール袋やツリーチャイムの音など，聴

覚的に感じることができる刺激を多く取り入れた。はらぺこあおむしの登場の場面では、ビニール袋で作った大きなあおむしが登場する。ビニール袋の音は多くの児童が好きな音であり、ビニールのあおむしが児童に近づいてきたときに、児童の興味関心を高め、自分から手指を動かして触る姿を引き出したいと考えている。あおむしに果物を食べさせる場面では、果物をあおむしの口に入れた後に、ツリーチャイムの音が流れるようにしている。ツリーチャイムの音も多くの児童が好きな音であり、音が鳴った楽しさや嬉しさを体や表情で表す姿を引き出していきたい。また、視覚障害がある児童へは、布等で作った葉っぱやあおむしの人形を準備し、それを触りながらお話を聞くことで、話の内容を理解しやすくした。

#### (4) 状況づくりと支援について

##### <状況作り>

- ・ 身体の緊張が入らず、リラックスした姿勢で参加できるように、児童の実態に合わせてクッション椅子に座ったり、指導者が抱っこをするなどして参加する
- ・ 児童の体の動きに応じて、司会や音楽を鳴らすスイッチの角度を変える
- ・ 日めくりカレンダーをめくる紐に、取っ手やリストバンドをつけ、児童が握りやすいようにする
- ・ 絵本が見えにくい児童には、お話に合わせて、布等で作った葉っぱやあおむしの人形を触ることができるようにする
- ・ 児童の興味関心を高めるために、あおむしをビニール袋で作り、音を鳴らしながら登場させる
- ・ 児童の活動への意欲を高めるために、あおむしに果物を食べさせた後に、ツリーチャイムの音がなるようにする
- ・ パラバルーンにビニールテープの紐や鈴をつけておき、聴覚や触覚で布の動きを感じることができるようにする

##### <支援>

- ・ 急な音や動きに驚かないように、指導者が事前に言葉かけを行う
- ・ 名前呼びでは、児童が自分から手指を動かしたり、表情で返事ができるように反応が出るのを待つ
- ・ 役割活動の時には、指導者が「スイッチを押してね」などの言葉かけをし、自分で手指を動かすまで待つ
- ・ 児童が注視したり、自分から手指を動かして触ることができるように、教材は一人ずつ目の前に持っていていき、ゆっくりと動かす

## 2. 本ユニットの実施計画

### 3. 本時の授業について

#### (1) 本時の展開

学習内容（項目）	児童生徒の活動	できる状況づくりと支援
始まりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半円状に集合する</li> <li>・鉄琴の音や、指導者の「はじめます」の言葉かけを聞いて、学習の始まりを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッション椅子や指導者の抱っこなど、児童がリラックスした姿勢で活動に参加できるようにする</li> </ul>
朝のあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VOCAを押して挨拶の号令をかける</li> <li>・指導者の「おはようございます」の言葉かけを聞いて、自分なりに挨拶をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の手の動きなどの状態に応じて、VOCAの位置や角度を工夫する</li> </ul>
朝の歌 「笑顔で今日も」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌に合わせて、指導者や友達のタッピングを感じて笑顔になる（A・C）</li> <li>・歌に合わせて、指導者のタッピングを感じる（B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気です歌を歌ったり児童の体にタッピングを行ったりする</li> </ul>
今日の日付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紐を引っ張って、日めくりカレンダーをめくる（C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紐の先に取り手やリストバンドをつけて、児童が紐を握りやすくする</li> </ul>
名前呼び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が児童の前に座って名前を呼ぶと笑顔になって返事をする（A）</li> <li>・指導者が児童の顔の前で名前を呼ぶと、手指を動かして返事をする（B）</li> <li>・指導者が児童の前に座って名前を呼ぶと、口を動かして返事をする（C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分なりに返事をするまで待つ</li> </ul>
今月の歌 「不思議なポケット」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイッチを押して音楽を鳴らす（A）</li> <li>・歌が聞こえると、笑顔になる（A）</li> <li>・歌に合わせて、指導者のタッピングを感じる（B）</li> <li>・歌に合わせて、指導者や友達のタッピングを感じて笑顔になる（C）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の手の動きなどの状態に応じて、スイッチの位置や角度を工夫する</li> <li>・楽しい雰囲気です歌を歌ったり児童の体にタッピングを行ったりする</li> </ul>
みんなであそぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お話を聞く</li> <li>・はらぺこあおむしのお話を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の目の高さになるよう台の上に大型絵本を置く</li> <li>・目の見えにくい児童には、布で作った葉っぱやおむしの人形を用意し、お話に合わせて手で触れるようにする</li> </ul>

終わりのあいさつ	<p>○あおむしの登場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなあおむしが登場すると、あおむしを見る (A)</li> <li>・あおむしの体が手に触れると、表情で気持ちを表す (B・C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あおむしの体をビニール袋で作る、動くとき音がするようにする</li> <li>・あおむしを児童の手の触れる位置まで動かし、児童が自分から手を動かすまで待つ</li> </ul>
	<p>○あおむしに果物を食べさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者と一緒にあおむしの口に果物を入れる</li> <li>・ツリーチャイムの音が聞こえると、音の鳴る方向を見て笑顔になる (A)</li> <li>・ツリーチャイムの音が聞こえると、少し目を開いた表情をする (B・C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本物の果物を使い、果物の匂いや重さを感じられるようにする</li> <li>・あおむしの口に板をつけておき果物が入れやすいようにする</li> <li>・VOCAにツリーチャイムの音を入れておき、果物を口に入れたときに音が鳴るようにする</li> </ul>
	<p>○ちょうちょの曲に合わせてパラバルーンをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラバルーンの布や、ビニールテープを触ろうと自分から手を伸ばす (A)</li> <li>・落ち着いた表情で、パラバルーンの布の動きや風を感じる (B)</li> <li>・パラバルーンの布やビニールテープが手に触れると表情で気持ちを表す (C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の色の布でパラバルーンを作り、布をゆっくりと動かして布の動きが見えやすいようにする</li> <li>・パラバルーンにビニールテープや鈴をつけておき、色々な音が感じられるようにする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VOCAを押して、終わりのあいさつの号令をかける</li> <li>・指導者の「終わります」の言葉かけを聞いて、学習の終わりを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の手の動きなどの状態に応じて、VOCAの位置や角度を工夫する</li> </ul>

## (2) 本時の評価 (評価の基準)

A	<p>ア. 指導者が「スイッチを押してね」と言葉かけをし、手をスイッチの近くまで動かす支援をすると、スイッチを押して音楽を鳴らすことができたか</p> <p>イ. 好きな音楽が聞こえると笑顔になって楽しいことを伝えることができたか</p>
B	<p>ア. 指導者の手や足への軽いタッピングを感じて、穏やかな表情で過ごすことができたか</p> <p>イ. ツリーチャイムの音が聞こえると、目を少し開いた表情をすることができたか</p>
C	<p>ア. 日めくりカレンダーの紐の先についた取っ手を周りからの励ましに応じて、カレンダーをめくる間握っていることができたか</p> <p>イ. 朝の会の名前呼びの場面で指導者に名前を呼ばれると口を動かして返事をすることができたか</p>

4. 配置図  
201教室

